

ご家庭で活用いただけるミニトマトの栽培資料をご用意しました。是非ご活用ください。

◆ミニトマト種まき～実ができるまでの目安

5月			6月			7月			8月			9月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
種まき			成長						花が咲く			実ができる・実が赤くなる		
			●本葉が4～5枚の頃 少し追肥をしましょう。 ※誠文社の肥料（3分の1程度）									←追肥をしましょう。→		

※ミニトマトには背が高く伸びる【高性】と背が低い【わい性】があります。

誠文社で販売しているミニトマトの種は植木鉢でも育てやすい【わい性】のミニトマトです。

発芽には比較的高い温度が必要です。20℃以上が理想です。種まきは遅くとも6月初旬までには行いましょう。

1. 土を準備しよう

※誠文社の【はなやさいのつち】を使用した場合です。
受皿付き植木鉢をご使用の場合、はじめに受皿をセットしてください。

- ① 植木鉢に【はなやさいのつち】を入れる。
※一握り程度の土を残しておきましょう。
- ② 土に水をかける。
土にしっかり水をなじませましょう。



4. 水やりについて

水やりは朝、やさしくたっぷり与えましょう。本葉が出て成長してきた頃、土が乾いていたら、夕方にも水を与えるようにしましょう。（水のやりすぎには注意してください。）

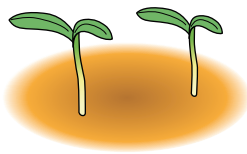


2. 種をまこう

※誠文社の【ミニトマトの種】を使用した場合です。

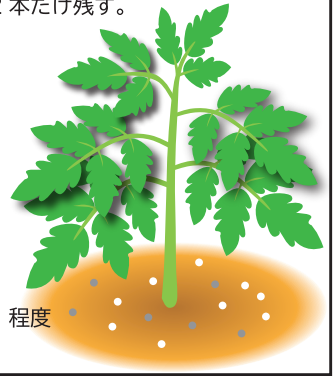
- ① 植木鉢に6～8粒程度の種をまく。
※種と種の間は均等にスペースを空けるようにしましょう。
- ② 残しておいた土を使い、3～5mm程度土をかぶせる。
- ③ 水をやさしくたっぷり与える。

※残った種は予備で置いておき、別の鉢にまいて育ててもよいでしょう。
※発芽について。
種をまいてから1週間程度で発芽します。



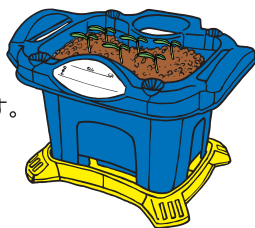
5. 発芽後、本葉が出た頃

- ① 発芽後、本葉が出た頃に、株を2本だけ残す。
- ② 本葉が4～5枚付いたところに株を1本だけ残す。
※誠文社の植木鉢の場合、2本のまま育てても大丈夫ですが、株間はできるだけ空けるようにしてください。
- ③ 本葉が4～5枚付いたころ肥料を少し与える。
※誠文社のミニトマトの肥料3分の1程度



3. 植木鉢の置き場所

日当たり、風通しの良い場所に置く。
風通しの良い場所は、病気の予防にもなります。
※暖かい風は良くないので、室外機の近くは避けてください。



6. 実が付きだした頃

残っている肥料を使い追肥をしましょう。一度に全て与えず、2～3回に分けて与えましょう。



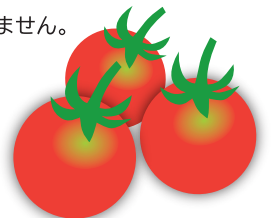
※誠文社のミニトマトは丈が25～40cm程度の背があまり伸びないわい性種です。支柱を立てなくても大丈夫ですが、40cmを超えるような事があれば、簡単な支柱（添え木）を立てて茎を結び、支えてあげるようにしましょう。

※芽かき（わき芽つみ）について。

わい性種のため、余分な芽をつむ心配はありません。

※収穫について。

実が赤くなったら収穫しましょう。トマトは昼に太陽の光や水から栄養を取り込み、夜のうちに実ため込みますので、朝収穫するようにしましょう。



※誠文社のミニトマトは観察を目的としたミニトマトです。食べていただけますが、おいしさや食感を追求したものではありませんので、ご了承ください。